

---

# 紅と白銀

時原真実

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紅と白銀

### 【Nコード】

N2952Q

### 【作者名】

時原真実

### 【あらすじ】

お兄様がヤンデレ気味です。弟君はまともです。多分

いつからだろうか

あの憎い弟を殺めたいと思う理由<sup>わけ</sup>が変わったのは

最初は

あのような半妖…

一族の恥さらし者を慕う日が来るとは思わなかった。

失った当時、怒りを覚えた左腕も、今では喜びを感じる  
あやつに触れられた証拠だと

あいつの匂いが近い。

少し行ってみるか。

だがやはり…

「殺生丸…っ！

何しにきやがった?!」

早速、刀を構える愛しの弟。

「ふっ…」

思わず笑みがこぼれる

触れる事が出来る…

「でやあああああ！！」

刀を構え、向かってくる。

… まだまだだな。

軽く、殴ってみる

それだけで簡単に吹っ飛んだ。

この時の声が、仕草がたまらない。

私を 狂わせる

こいつを

全て

私のモノにしたい

血にまみれさせ、私だけのものに。

そうだ、この場で…

この場で

私だけのものに…

爪を構え、奴に向かう

「貴様は、私以外の者に殺されるな。」

そう言い、一気に引き裂く。

あの女の悲鳴が聞こえる。

だが、そんな事は関係ない

この身体は…私のモノになったのだ

この喜びを隠せるものか

奴を眺めていたせいか、私は気付かなかった。

聖なる矢が飛んで来ている事に。

ああ。

私もここで眠るのか。

こやつと共に。

こやつと逝くならば本望。

犬夜叉よ、私は

憎しみではなく、慕しめで貴様を殺めたかったのだ。

そう呟き

奴に重なるように

倒れ

永久の眠りにつく。

喜びをかみ締めながら。

残ったものは

紅と白銀。

(後書き)

ななななな、何かすみませんっ

何となく書いたというか…

殺兄、キャラ崩壊ですね…;

今度、犬夜叉視点も書こうかな…

あ、私、腐女子じゃないですよ、多分  
そりゃBLもたまには読みますが…

だって、CPでベスト3つくったらNCPが並ぶし…

まあ、どうでもいいですねww

それではこの辺で…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2952q/>

---

紅と白銀

2011年1月26日02時32分発行